

FREE STYLE meets GREAT 3 at WORLD [世界]



シカゴで録音された6th [When you were a beauty] も絶好調のGREAT3 (以下G3) が京都入浴。device.でのCDミュージアムsitioも好評だった彼らが [世界] 定例イベント [FREE STYLE] のジャンルを越えたDJスピニにゲスト参加と聞けば、間違いなく「行っとこ」なツケで、花束抱えたファンから長髪のパンドマンまで、ライブハウスのごとく熱気ムンムンなテンション。α-STATIONから藤本氏、DAWNから山本氏、の両ゲストが会場を温めるなか、白根氏(dr.&vo)のDJプレイでスタート。ロックあり、R&Bあり、HIPHOPあり、のオールジャンルセレクトで高桑氏 (vo.&b)、片寄氏 (vo.&g) が続き、G3の音楽性にリスペクト! で、ボルテージMAX!! 「Thank you京都!!」を叫ぶ高桑氏のラストの姿、ここんトコ京都づいてる「DJ・G3」がオーディエンス全員の脳裏に焼き付いた次第。

- A. GREAT3全員集合。今宵はDJとして出陣した左から白根氏、片寄氏、高桑氏の面々。「京都はフィーリングが合うね」とうれしい発言も
- B. MC的な役目もこなしたα-STATIONの藤本氏。「クラブとミュージシャンの融合」を目指す今宵のオーガナイザーのひとり
- C. ミカさん (右) とマミさん (左) は心算機から上京。知り合いのDJの応援に来たのに「G3って最カッコいいー」
- D. FM制作「ライス・ファクトリー」の池田氏も深夜にDJプレイ。ギターポップを中心に、G3に負けじと見舞!
- E. ショップスタッフナオキくん (右) とチツルさん (左) は「音を聞きに」のダークなクラブ。G3の音、イケてます!
- F. ノンノマンの吉沢君と部員達の小林さんとはともにG3ファン。「キヨシ (高桑) に会うため」に今宵は高桑から
- G. 「今日が誕生日」の増代さん (右) の記念に、ワールド大好き茶代子さん (中) と武史くん (左) がG3イベントで祝儀
- H. 教頭の拓平くん (右) とヨシミさん (左)。「結婚しま〜す、長い目で見てね」とラブラブぷりを発揮。G3もじっくり見て下さい!
- I. 赤ジャケットが際立ってました山崎さん。「G3のサウンドは踊りやすい」と汗をカキカキ、再びフロアへ



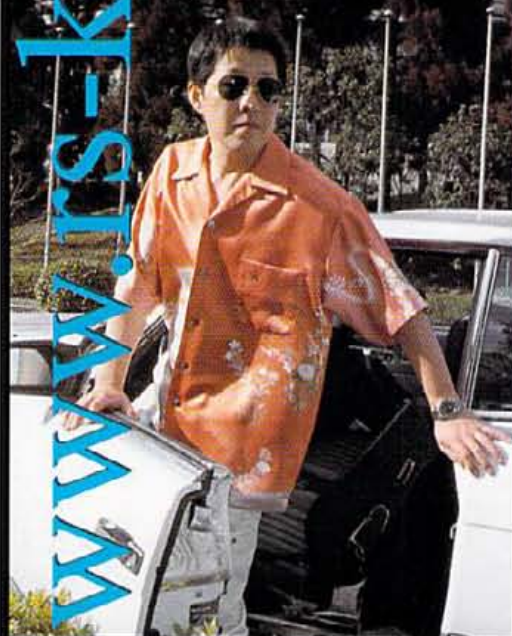
第28回 湯どうぶ食べくらべ大会 at 清水順正





www.rs-kyoto.com

魚 kyo



ブランド“魚”のアロハシャツは  
きもの柄をプリントしたものではありません。  
手描き本友禅で、染めあげた反物で割りました。  
もちろん素材は肌ざわりの良い絹。  
一点づつ柄合わせをした後に丁寧に縫い合わせました。  
つまり、すべてが逸品といえます。

ご注文・お問い合わせは上記URLまたは  
▶有限会社アールズ ☎075-707-9988 ☎075-707-8501  
京都市左京区山端沓町4-1京福修学院第2マンション1F

## Watching Carefully

お茶の間を騒がせているフードファイターも何のその。南禅寺に本店を持つ湯どうふ専門店「清水順正」の恒例イベントは今年で28回目。1回目から司会を担当。審判長でもある「いらっしゃ〜い」桂三枝師匠の人気も手伝って、北は北海道、南は九州、果てはニュージーランドから、胃袋(?)に覚えのある猛者がエントリー。舞妓さんやコスプレ集団も加わり、多種多様な顔が会場を埋め尽くす。予選だけで4丁の豆腐が入った鍋×2、さらに決勝は∞に豆腐が出てくるサドンデス。まさに豆腐尽くしの食べ比べに優勝したのは何と身長150cmの女のゴ! しかも過去最高17丁をたいらげたアナタの胃袋って…。何にせよ湯どうふを食べて、三枝師匠のトークも楽しめて、参加者も観客も全員タダ。「清水順正」の太っ腹な振る舞いぶりに、今日はリスバケツするしかないでしょ!



A イベントの前、桂三枝師匠も来てくれて28周年、ハイアワードとも呼べる湯どうふ大会にコメント「ここまではお久しぶりです」  
B 第3回の優勝者である山本浩利師匠として参加。「あんなに身が熱いのは久しぶりなや〜」と熱いながらも、夢中になっていた様子でした  
C 「体が母親になっちゃ高かったですね!」とまだ母の味覚を感じる優勝者、田中理加さん。「あと4丁くらいは食べてあげたい」とアツアツカレーの胃袋は作り  
D 「あのゴ(田中さん)には負けません!」と熱いながらも押し出したおれさん本賞のメーカ、(優勝)東洋水産、1日1丁を2人で食べた  
E フリーターの山田けんは驚きの表情に参加。「私はおしく食べて来ました!」と結果は良いです  
F 遠く出張大社から出場。会場でも自立していた旅館旅館「湯内」に身を込んだ優勝者さん(右)と優勝者さん(左)、「この中で優勝した!」  
は、大会のオーガナイザー「魚正」社長、山田理加さん。「今回の大会は1000丁の豆腐を完食しました!」と、おれさん胃袋を誇る  
おれさん胃袋のメンバーも参加。が、たったの5丁でダウン。セーブの機会もないので、優勝チャンシンのカメがバッチリ優勝

